

令和4年度ふれあいつーク議事録(10月5日)

日時 令和4年10月5日(水) 19:00～
 場所 余川宮農研修会館
 出席者 26名
 市長、企画政策部長、総務部長、市民部長、建設部長、教育次長、
 防災・危機管理監、消防管理監、農林畜産課長、地域振興課、地域担当職員
 内容 19:00～19:05 冒頭の説明等
 19:05～19:41 あいさつ、市政の概要について 市長説明
 19:41～19:43 余川地区事業概要について 地域振興課説明
 19:43～20:20 意見交換
 20:20～20:25 マイナンバーカード(市民部長)、氷見市芸術文化館(教育次長)について説明
 20:25～20:30 閉会あいさつ 市長、余川自治振興委員協議会 区長

質問の内容	回答
1 地域防災について ・余川地区の特に入り組んだ谷合いにおいて、防災無線が聞きづらいという意見を多く聞いている。高齢者宅等には、防災ラジオが配布されているが、全戸配布はできないか。 ・余川川で余川の南北が分かれている。旧余川小学校が現在の指定避難所となっているが、災害により橋が損壊する場合も考慮し、余川川の北側にもう1か所指定避難所を増設できないか。 NPOバスについて ・NPOバスの運行がH22.10月から開始して以降、バス利用者は、H23:8,000人、H30:4,000人を割っており、それ以降も減少している。コロナの影響もあり、今年度は3,000人を割る予想である。 氷見市には現在3路線あるが、氷見市で1つにまとめて運営、維持することはできないか。	・H27から5か年にわたり小中学校、高齢者施設、土砂災害警戒区域内の世帯、避難時に支援が必要な世帯等に防災ラジオを配布している。防災ラジオがない世帯で、防災無線が聞き取れない場合、テレホンサービスをご活用いただきたい。公式LINE、防災アプリなどでも防災情報を配信しているので、ぜひ登録をお願いしたい。(防災・危機管理監) ・指定避難所増設は、現在考えていないが、余川川北側の公民館を自主避難所として開けていただけるのなら、市の備蓄用品を置かせていただくことは前向きに検討したい。(防災・危機管理監) ・今年度、5年の地域公共交通計画を策定予定である。アンケートを実施し、地域の課題、住民の意見を集約しながら、今後の地域公共交通計画の策定を検討していく。(企画政策部長)
2 ・以前にもお願いしたが、男女の出会いの場が欲しい。77歳バツイチだが婚活支援制度は50歳までである。飲食を伴うものではなく、対面でお話しする場を設けてもらうだけでよい。	・婚活支援事業の中で、ひみ婚会員の登録を行っているが、50歳までとなっている。(企画政策部長) ・老人クラブ連合会には、このような意見があったことをお伝えする。(市民部長) ・趣味を通して、芸術文化館での講座やパークゴルフ場などいろんなところへ出向いて交流を深めてほしい。(市長)
3 ・熊の出没情報が氷見市公式LINEにて配信されているが、それに加えて、もし熊に遭遇してしまったときの対処法、熊に遭遇しない方法も発信してほしい。 ・イノシシの個体数は、近年の豚熱感染で減少したが、再びもとに戻ると想定される。イノシシ対策の講習およびイノシシに対する正しい情報を発信してほしい。 ・アライグマによる農作物の被害額はほとんどないが、住居侵入、水辺の希少生物の被害などの弊害を起こす。このような特定外来生物に対しては、防除計画を策定すれば、捕獲・駆除が可能であるはずだが、その計画を策定する予定はあるか。	・熊に遭遇してしまったときの対処法、遭遇しないための方法等の発信を検討していく。 ・イノシシ対策として、イノシシに対する講習は年1回実施しているが、加えて正しい電気柵設置の講習会の実施を検討する。 ・アライグマによる生息実態調査を実施し、今後防除計画策定を進めたい。(農林畜産課長)
4 ・人口減少で消防団員になる人がいない。現在市内には、20分団あるが、今後合併していく予定はあるか。	・どの分団も人が減少している。分団合併については、現在のところ議論はしていないが、分団合併を要望する声は、各分団から聞いている。今年の4月から、年間報酬アップや行事に参加しやすい日を自由に設定できるよう分団員の処遇改善に努め、新規分団員の確保や現在の活動を継続してもらえるよう取り組んでいる。(消防管理監)